はじめに　戸ノ下達也　9

序章――「戦争・メディア・音楽」のまなざし　戸ノ下達也　15

1　近代日本の「音楽文化」研究の状況　17
2　「音楽文化」へのまなざし　19
3　音楽文化論探究における三つの論点　21

第1部――音楽の総力戦

第1章――十五年戦争期の「国民音楽」　高岡裕之　34

1　戦時期文化研究の変容　35

2 新体制と国民音楽論 39
3 厚生音楽と国民音楽 44

第2章 流行歌と映画 古川隆久 55

1 流行歌にとっての映画 56
2 映画と音楽の普及動向 60
3 映画主題歌と流行歌の関係 63
4 ヒット作と統制の強化——「愛染かつら」以後 66

第3章 南方占領地域での日本による音楽普及工作 長木誠司 78

1 日本語教育の一助としての音楽の使用 79
2 占領地域の音楽活性化 83
3 フィリピンでの音楽文化工作 85
4 宗教音楽を通した宣撫活動 90

第2部——音楽の諸相

第4章——日本人作曲家の「日本的」作曲
——一九三〇年代の創作理念　熊沢彩子　96

1 初期の作曲界　98
2 転換期の作曲界　103
3 「国民音楽」論の展開　106
4 「日本的作曲」論　111
5 「日本的作曲」の実情——チェレプニンを中心に　117

第5章——国際文化振興会の対外文化事業
——芸能・音楽を用いた事業に注目して　酒井健太郎　127

1 組織と事業の概観　128
2 伝統芸能・西洋音楽を使った事業の内容　139

3 KBSにおける近代性とナショナリズム　146

第6章——戦争と音感の社会史
——国民学校と盲教育界を事例として　上田誠二　159

1 音感教育の導入過程　162
2 国民学校における音感教育の実践と展開——神奈川県中郡大磯町を中心に　169
3 盲教育界における音感教育の実践と防空監視への動員　174

第7章——ラジオ時代の洋楽文化
——洋楽番組の形成過程と制作者の思想を中心に　武田康孝　196

1 放送開始から機構改革（一九三四年）までの洋楽番組　197
2 機構改革（一九三四年）から太平洋戦争開始（一九四一年）までの洋楽番組　202
3 太平洋戦争期から戦後占領期の洋楽番組　207

おわりに　長木誠司　223